



学校だより

7月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～

「まち」に見守られて

校長 西山 久美子



「おはようございます!」「はい。おはよう!」毎朝8時過ぎ、正門そばの交差点。見守り隊の皆様と子ども達との間で、今日も元気なあいさつが響きます。子ども達の交通安全が守られているのは、雨の日も暑い日も見守り隊の皆様が、登校する子ども達の横断をサポートしてくださっているおかげです。また、PTA 校外委員の皆様をはじめ、地域や保護者の皆様が通学路の安全を考え温かく声をかけていただいていることも、子ども達にとって心強く、安心して登下校できる環境となっています。子ども達が毎日楽しく過ごせるのは、地域や保護者の皆様の温かい見守りがあるからこそと、改めて感謝申し上げます。

学校では生活科や社会科の学習で「まち」を調べる活動があります。2年生は「まち」に出かけ、公園や自然、建物などに目を向けながら「すてきな場所」探しをします。「第二公園はお花がたくさんさいていて、とてもきれいでした。」など、見つけたことをカードに記録し「すてきマップ」にまとめていました。



2年生のすてきマップ



3年生になると、東西南北を確かめそれぞれの方角の特徴を調べます。実際に歩きながら、地図だけでは分からない学区の様子を知り、自分のまちのよさに気づきます。また、地域の方の話聞き、新しい発見をします。まち探検から戻ってきた子ども達は、自分のまちをもっと好きになっていることでしょう。

上星川小学校の校章は3つの星で構成されています。その3つは「上星川」「東川島」「羽沢」の3つの地域が協力して子ども達を見守っていくという意味も込められているとのこと。まさに地域に見守られながら成長できる環境にあることを大変ありがたく感じています。そして子ども達には、自分たちを支えてくれる周りの人への感謝の気持ちと、まちの一員としてできることに取り組んでいこうとする気持ちがさらに大きく育ってほしいと思っています。今後も学校と保護者、地域が手を取り合っ



子ども達の成長を「見守って」いくために、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。